

バスと宅急便。
荷物のリレーが始まりました。



宮崎県「西米良村―西都市」では、
路線バスが宅急便を輸送しています。

写真左は、宮崎交通の黒木一朗運転士。
真ん中は、西米良村でゆず製品をつくっている上米良芳子さん。
右は、クロネコヤマトの山崎正セールズドライバー。
この村を担当する山崎セールズドライバーは、上米良さんから預かりした荷物を、
西米良村の停留所でバスの車内に積み込みます。
そして黒木運転士がバスを走らせ、集配センターのある西都市へ。
実はこのユニークな荷物のリレーが始まった背景には、
この地域ならではの人々の暮らしに関わるいくつかの課題がありました。

荷物を届けることを通して、
この村に暮らす人々のためにできることを。

昨年10月から始まったこの取り組みは、クロネコヤマトと宮崎交通と自治体が連携し、
西米良村と集配センターがある西都市との荷物輸送に、路線バスを活用するものです。
過疎化と高齢化がすすむこの地域で、地域住民の足を維持したいバス会社、
高齢者へのサービスを厚くしたい自治体、この地域のサービス品質を向上させたい
クロネコヤマト、それぞれの課題を同時に解決するための工夫でした。

この路線では両方面に一日4便ずつ運行していますが、
過疎化とともにバスの利用者は減り続け、いまでは乗客が一人もいない便も見かけます。
地域の人々の大部分は自家用車を利用していますが、
ひとり暮らしのお年寄りにとってバスは、病院やスーパーに行く際に欠かせない交通手段です。
自分で車を運転できなくなる日のことを考えて、
路線バスの維持を求める人も少なくありません。

今回の取り組みが、バス会社の新たな収入源となり、路線の維持に貢献できれば、
この地域に暮らす人々の力になることができます。

クロネコヤマトにとっても、集配のために片道50km、約一時間半かかる
「西米良村―西都市」間を一日2往復していたのが、1往復で済むようになりました。
そのため西米良村に滞在できる時間が約三時間ふえ、
「もつと遅くに荷物を出したい」「配達時間を変更したい」
などの要望にも、きめ細かく応えることができるようになりました。

山崎セールズドライバーは、
「ゆずや椎茸の出荷がふえる時期なので、
お客さまには喜んでもらっています」と笑顔で話します。
今後は、長くなった滞在時間をつかって
「買い物支援」や「高齢者の見守り支援」などのサービスも担っていきます。

今年、宅急便は誕生40周年。

これからも全国6万人のセールズドライバーが
地域に密着して考え、行動します。

お客さま一人ひとり、求めることは違います。地域ごとに抱える課題も違います。
それぞれに合ったサービスを届けるには、
やはりお客さまの気持ちになって考えることが出発点。
どんなことをすると喜ばれるだろう。役に立てるだろう。
そう考えをめぐらせ、荷物を大切に届けていく。
地域の声に耳を傾け、自分たちにできることを考える。
マニュアルだけでは決まれない気配りや工夫こそ、
よりよいサービスにつながるのだと私たちは信じています。

2016年になりました。今年も「人から人へ」「手から手へ」。
もつとあたたかく、暮らしのパートナーとなるように。
全国に広がるネットワークで、地域に合ったサービスをお届けします。
そして今日も、クロネコヤマトは新年を迎えたあなたのまちへ。



【客貨混載バス】
西米良村と西都市をむすぶ荷物の
輸送に路線バスを活用。車内の座席
に荷物スペースをくり運んでいます。



ヤマト運輸

ヤマト運輸
宮崎県西米良村をはじめとする地域の
取り組みをホームページで紹介しています。